ALEJANDRO TOLEDO

- **President of Peru (2001 – 2006)**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

アレハンドロトレドは、2001 - 06年にペルーの大統領を務めました。この間、ペルー経済は平均6%の成長率を示し、ラテンアメリカで最も急成長している経済のひとつとなっています。

彼の5年間の任期中、トレドの大統領の主な目的は、医療と教育への投資を通じて貧困と闘うことでした。持続的な経済成長と最貧困層を対象とした社会政策の結果として、極度の貧困は5年間で25%減少し、雇用は2004-06年から平均6%の割合で増加しました。

トレドは16人の兄弟の家族の中で極度の貧困の中で成長しました。 6歳の時、彼はストリートシューズシャイナーとして働いていて、家族の収入を補うために新聞や宝くじを売っていました。一連の偶然の機会のおかげで、彼は貧困から脱出し、世界で最も権威のある学術センターに通うことができました。彼はペルーの先住民族出身の大統領であり、500年後に民主的に選出された。

トレドは経済学の修士号と博士号を取得しています。スタンフォード大学で人事の経済学の博士号を取得。また、ハーバード大学で客員研究員、東京の早稲田大学で研究員を務めました。大統領になる前、トレドはワシントンの世界銀行と米州開発銀行、そしてニューヨークの国連で働いていました。

大統領としての任期を終えた後、トレドは3年間スタンフォードに戻り、そこで彼は大学の行動科学の高等研究センターのフェローであり、またフリーマン・スポリ研究所の民主主義の開発のセンターの客席客員講師でした。そして法の支配。

彼はまた、ラテンアメリカ、アメリカ、そして欧州連合に拠点を置く、開発と民主主義のためのグローバルセンターの会長を設立し、これを務め続けています。2009 - 10年、トレドはワシントンDCのジョンズホプキンス大学高等国際学部の優秀な客員研究員であり、ブルッキングズ研究所の外交政策と世界経済と開発の非居住上級フェローでもありました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988